

# 新八代駅周辺グランドデザイン

## [概要版]



2024(令和6)年3月 八代市

# 1. 新八代駅周辺の現状と課題、今後の方向性

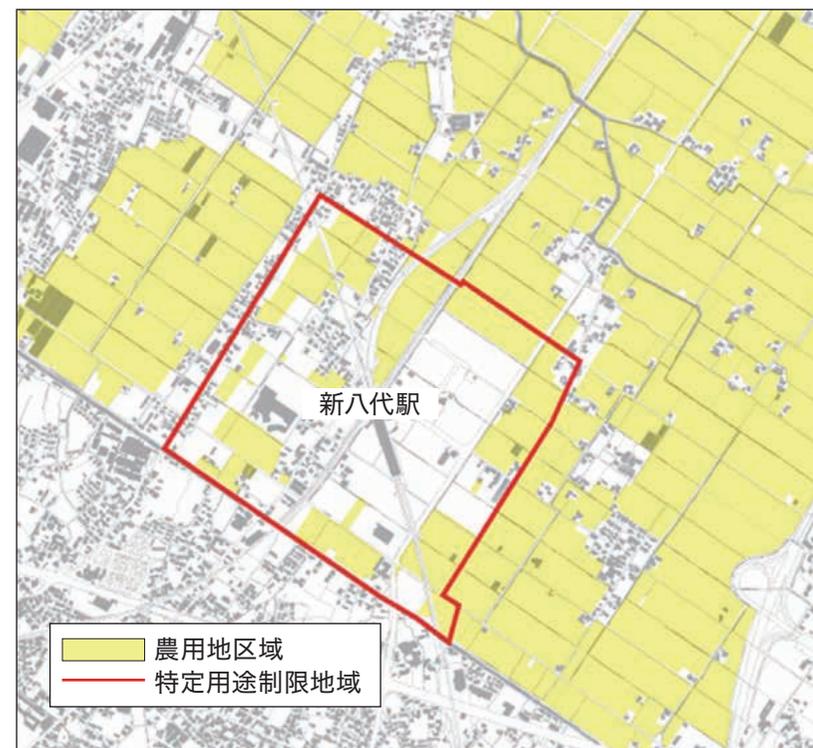
## 現状と課題

### これまでの取組

- 2024 (R6) 年3月に開業20周年を迎えた新八代駅の周辺においては、これまで道路や上下水道などのインフラ整備及び特定用途制限地域の指定等により、住宅開発や商業施設などの民間施設の進出を促す環境を整えてきたが、**交通の要衝としての地の利を活かした、広域交流拠点機能の充実したまちづくりが十分には進んでいない状況**にある。

### 本市を取り巻く環境の変化

- 本市においては、くまモンポート八代の整備やアフターコロナへの転換に伴い、今後は大型クルーズ船寄港によるインバウンドの拡大が見込まれており、**経済効果を最大限に波及させるための取組が求められている。**
- さらに、台湾の世界的半導体メーカーであるTSMCの熊本進出を契機として、企業誘致に係る地域間競争が激化しており、県南地域全体の振興を図っていくためにも、**県南の拠点都市である本市への関連産業の集積や人流・物流の増加を図っていく必要がある。**
- また、現代社会においては、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進やカーボンニュートラルの実現に向けた取組が加速化しており、人々のライフスタイルや社会意識も大きく変容してきていることから、本市の玄関口である新八代駅周辺において、**広域交流拠点にふさわしい新たな時代に対応した魅力あるまちづくりを、進取的に取り組んでいく必要がある。**



国土地理院基盤地図情報ダウンロードデータを基に作成  
図 新八代駅周辺の農用地区域図 (令和6年2月時点)



## 2. 新八代駅周辺の将来構想

### (1) 将来像

新八代駅周辺については、交通の要衝としての強みを活かした、多様な交流、にぎわい、魅力を生み出す

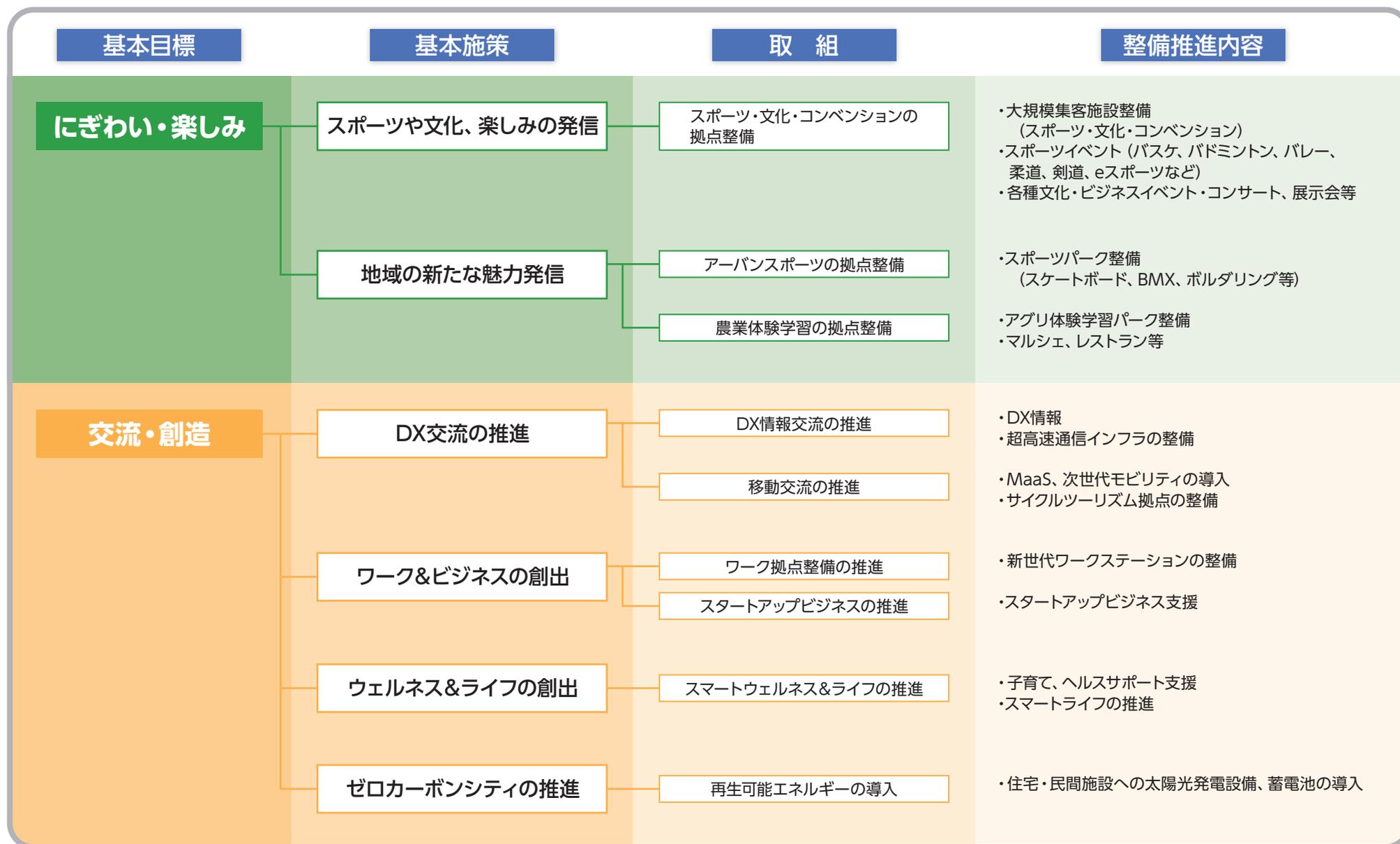
**「未来を切り拓き活躍する新世代が飛翔する 交流・創造の拠点」とする。**



図 将来像のイメージ

## (2) 基本目標・基本施策

将来像の実現に向け取り組む施策体系は以下のとおりである。



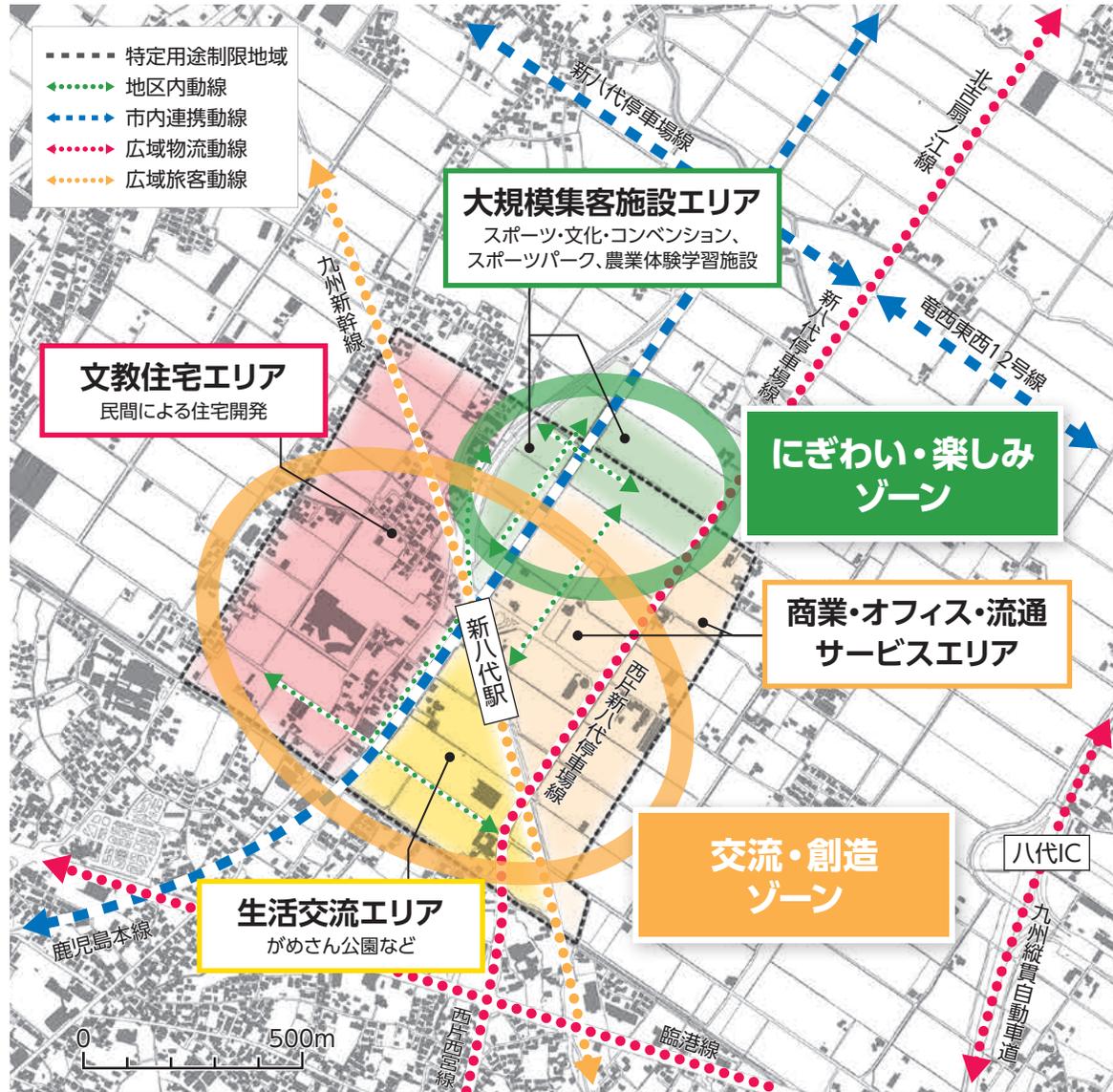
### 3. 新八代駅周辺における導入機能等と整備方針

#### ○基本施策に基づく導入機能と整備方針

基本施策	取組と整備内容	導入機能	導入機能の整備方針
スポーツや文化・ 楽しみの発信	スポーツ・文化・ コンベンションの 拠点整備	スポーツ・文化・ コンベンション機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 周囲を階段状の観客席で囲まれた<u>スポーツ競技場となるアリーナ</u>と会議・コンサート等の<u>イベントが開催できる多目的ホール</u>及び<u>武道場</u>等で構成する。</li> <li>✓ <u>滞在・飲食等の機能</u>を併せ持ち、ゆっくりと時間を過ごせる環境を形成する。</li> </ul>
地域の新たな 魅力発信	アーバンスポーツの 拠点整備	アウトドア アーバンスポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ スケートボード（ストリート・パーク）やBMX（バイシクルモトクロス）、ボルダリングなど<u>アーバンスポーツの競技を楽しめる</u>構成とする。</li> <li>✓ 併せて、<u>ジョギングも楽しめるコース</u>なども設ける。</li> </ul>
	農業体験学習の 拠点整備	農業体験学習 機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 園児や学生などが<u>農業体験学習をすることのできるパーク</u>と、栽培した農産物を販売したり、自らレシピを考えた食を提供する<u>マルシェレストラン</u>などを導入する。</li> </ul>
DX交流の推進	DX情報交流の推進	DX情報機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新拠点の各施設で<u>AIやIoTを活用したDXの導入を推進</u>する。</li> <li>✓ 超高速・大容量のデータ通信を支えるICT基盤の整備。</li> </ul>
	移動交流の推進	移動モビリティ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ MaaS・次世代モビリティなどデジタル技術でいろいろな移動サービスを組み合わせ、<u>EV・次世代モビリティが中心市街地のにぎわい拠点等を結ぶハブ拠点</u>とする。</li> <li>✓ サイクリストの受け入れ環境が整ったサイクルツーリズムの拠点とする。</li> </ul>
ワーク&ビジネス の創出	ワーク拠点整備の推進	ワークステーション機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新世代が集い、リモートワークなどの仲間同士も含めDXを取り入れ、<u>多様な働き方ができる先導的な働く場</u>としていく。</li> </ul>
	スタートアップビジネスの 推進	スタートアップビジネス 支援機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 熱意ある若者の<u>新規ビジネスの起業化を様々な視点から支援</u>し、ビジネスモデルとして醸成していく場とする。</li> <li>✓ 半導体産業をハブとした<u>オープンイノベーションを誘発する場</u>としていく。（展示施設）</li> </ul>
ウェルネス& ライフの創出	スマートウェルネス& ライフの推進	スマートウェルネス& ライフ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ AIやIoTを活用しながら、<u>子育て世代等が健康的で豊かな生活が送れるよう支援する場</u>としていく。</li> </ul>
ゼロカーボン シティの推進	再生可能エネルギーの 導入	エコ機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 再エネ住宅等（ZEH・ZEB）の建設や各家庭、事業所等に太陽光発電設備や蓄電池の導入を促進し、<u>再エネを起点としたスマートシティ化を推進</u>する。</li> </ul>

# 4. 新八代駅周辺の土地利用ゾーニングプラン

ゾーニングプラン（土地利用や動線の大きな方針）を以下に示す。



国土地理院基盤地図情報ダウンロードデータを基に作成



